

立命館経済學

第二十八卷 第六号

昭和五十五年二月

内 容

論 説

近代天皇制について後 藤 靖 1
——鎌倉孝夫氏の批判に応える——

販売促進政策と企業成長松 川 周二 18

研 究

構造不況と産業組織山 本 幹 夫 48
——造船業における市場構造の変化と設備過剰——

『資本論』における流通必要金量概念と資本破壊 ...竹 味 能 成 101

資 料

志布志湾漁業経済分析資料（その三）杉 野 罔 明 121

共同研究室 171

立 命 館 大 学 経 済 学 会

立命館経済学 第二十八卷・第二号

論 説

「地域主義」に対する批判(上)……………杉野 罔明
——玉野井芳郎氏の所説について——

三月前期のプロイセンにおける
「社会問題」と社会政策および
中間層政策の展開(三)……………川本 和良

研 究

価格体系と価値法則……………佐々木 秀太

研究ノート

ケインズ経済学の意義と限界(Ⅱ)……………山田 正一
——スキデルスキー編『ケインズ
時代の終焉』をめぐって——
河北野田 川野野田 周快正 二晴一 彌

共同研究室

発行所 立命館大学経済学会

立命館経済学 第二十八卷・第三・四・五号

三十周年記念論文集によせて……………塩田庄兵衛
老舗外与株式会社の歴史と
経営哲学……………足立 政男

平均利潤率の形成と需要供給の
関係について……………小樽山 政克

「地域主義」に対する批判(下)……………杉野 罔明
——玉野井芳郎氏の所説について——

近代経済学における

科学性・客観性論……………浜崎 正規

価値法則の国際的展開

についての一考察……………岩田 勝雄

生活手段の資本主義的形態と

その廃棄……………角田 修一

独占的諸行動と均衡経路の

不安性……………北野 正一

産業構造研究の基礎視角……………甲賀 光秀

(新制) 経済学部三十周年年譜

立命館経済学著者別目録

発行所 立命館大学経済学会